

ライトアップ照明器具(屋外用)

保管用

灯具品番	タイプ	適合ランプ	適合アクセサリ			
NC62021BK	狭角型	M250・L/BU-P M250・L/BU-SC-2 M250・L/BD-P M250・L/BD-SC-2 M250・L/BH-SC M250L/BUSC/N M250L/BDSC/N M250L/BDSC-P/N M250L/VHSC-P/N	NK10050B (ルーバ)	NK10053B (フィルター取付枠) +	NK11060B (スパイク)	YD4580K
NC62031BK	中角型	M250・L/BU-P M250・L/BU-SC-2 M250・L/BD-P M250・L/BD-SC-2 M250・L/BH-SC M250L/BUSC/N M250L/BDSC/N M250L/BDSC-P/N M250L/VHSC-P/N BHF200-220V250W/N(安定器不要)	NK10052B (ガード)	NK10054R (カラーフィルター 赤) NK10054G (カラーフィルター 緑) NK10054D (カラーフィルター 青)	NK11061B (1灯用アーム) NK11062B (2灯用アーム)	
NC62071BK	狭角型	NH220・L NH220L/N				
NC62081BK	中角型					

※適合ランプについて……器具としては上記ランプが適合しますが、ご使用にあたっては別途手配の安定器に適合するものをお選びください。(パナソニック製ランプをご使用ください。)

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

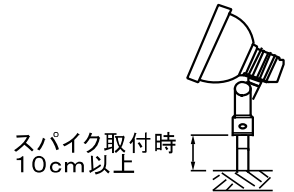
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は取扱説明書にしたがい、確実にこなす。施工に不備があると発火・感電・落下の原因となります。
- 設置工事(D種接地工事)を確実にこなす。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 器具の改造は、絶対に行わない。発火・感電・落下の原因となります。
- 一般屋外用器具です。浴室などの湿気が多い場所、振動や衝撃の多い場所(橋や高架上等)、腐食性ガスの発生する場所塩素を使用する屋内プール等では使用しない。器具の落下や絶縁不良による感電の原因となります。
- 安定器別置型です。使用するランプ、電圧、周波数を確認の上、適正のものを選ぶ。ランプの破裂・発火の原因となります。
- ランプは器具、安定器との適合とランプの使用制限を確認の上使用する。ランプの破裂・発火の原因となります。
- 前面ガラスが高温になりますので、人が容易に触れるおそれのある場所では使用しない。やけどの原因となります。
- 枯葉や枯枝が前面ガラスに舞い落ちるような場所ではアクセサリと組合わせて使用しない。発火の原因となります。
- 草や木で前面ガラスが覆われるような場所では使用しない。発火の原因となります。
- 冠水のおそれのある場所には使用しない。浸水による感電の原因となります。
- 被照射面とは1m以上離す。過熱による発火の原因となります。
- 適合スパイクと組合せる場合は、必ず地面より10cm以上あける。発火の原因となります。



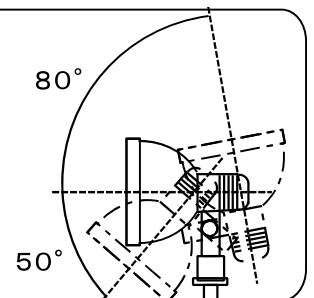
スパイク取付時
10cm以上

注意

- この器具は一般屋外用(防雨型)です。それ以外の場所では、使用できません。発火・感電・落下の原因となります。
- 60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では、使用はしないでください。器具落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)以外の電源で使用しないでください。感電・発火の原因となります。
- 周囲温度 35℃以上での使用はしないでください。又、施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。不点や発火の原因となります。
- ケーブルは600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル又は600V二種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するものをご使用ください。適合ケーブル径は3芯φ11.5~φ13.0mmです。指定外ケーブルを使用しますと浸水による感電・発火の原因となります。

使用上のご注意

- 灯具の首振角度は、上向き80° 下向き50° です。
- パナゴールド・D、マルチハロゲン、ハイゴールド、ハイカイトランプをご使用の際は、ランプ固有の使用制限がありますので、カタログ(ランプ・安定器の欄)をご参照ください。
- 正しい配光を得るために、必ず透明型ランプをご使用ください。(※バラストレス水銀灯ランプは除く)
- ご使用中にガラスや反射鏡が、若干白く曇る場合があります。
シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスですので、異常ではありません。
軟らかい布等で拭いてからご使用ください。

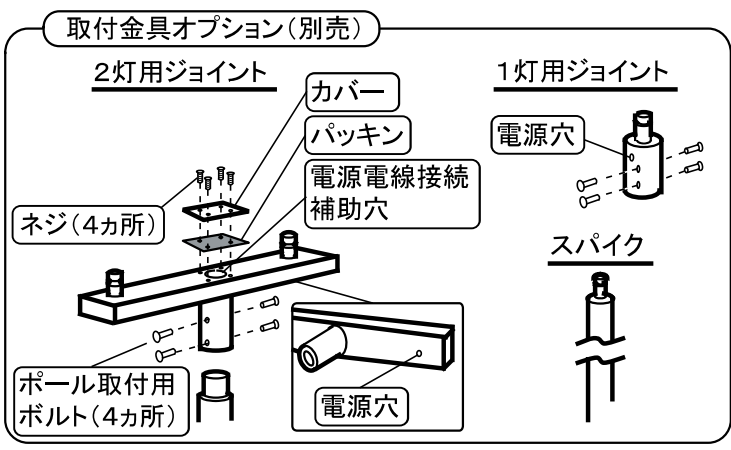
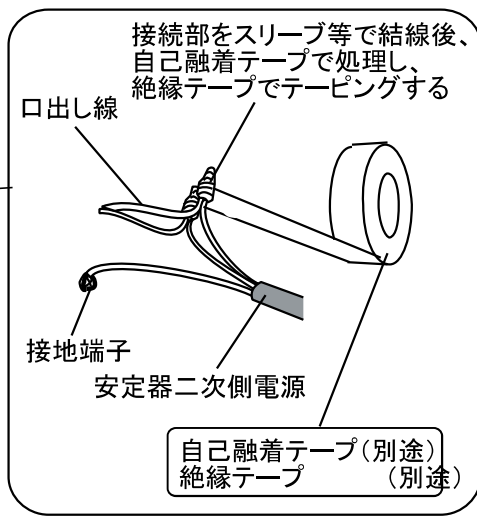
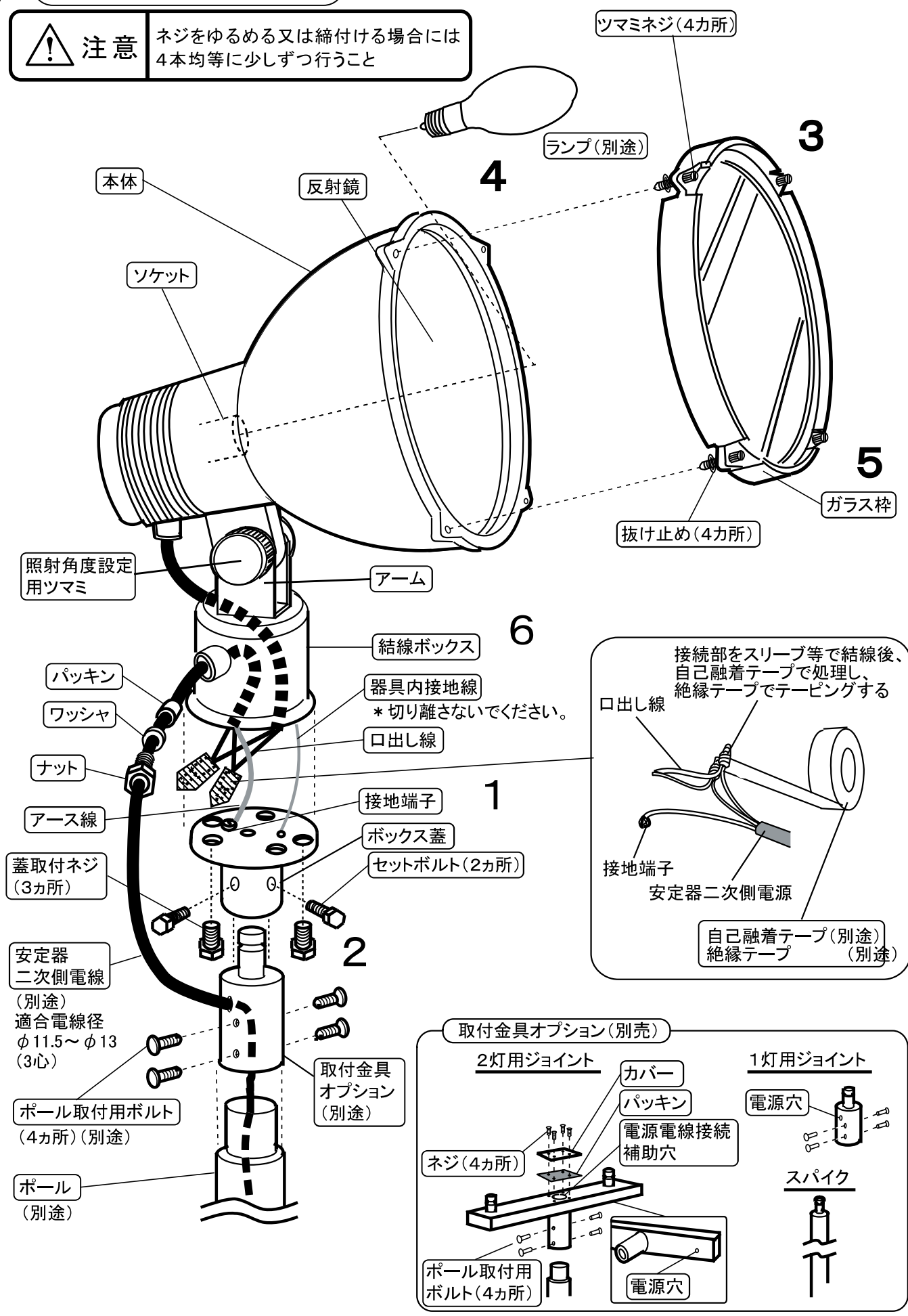


各部のなまえと取付けかた



注意

ネジをゆるめる又は締付ける場合には
4本均等に少しずつ行うこと



照射角度設定
用ツマミ

本体

反射鏡

ソケット

ツマミネジ(4カ所)

ランプ(別途)

3

5

ガラス枠

抜け止め(4カ所)

アーム

6

結線ボックス

器具内接地線

* 切り離さないでください。

口出し線

1

接地端子

ボックス蓋

セットボルト(2カ所)

パッキン

ワッシャ

ナット

アース線

蓋取付ネジ
(3カ所)

安定器
二次側電線
(別途)
適合電線径
φ11.5~φ13
(3心)

取付金具
オプション
(別途)

ポール取付用ボルト
(4カ所)(別途)

ポール
(別途)



警告

施工は取扱説明書にしたがい確実に行なう。
 施工に不備があると落下、感電、発火の原因となります。

1 口出し線に安定器二次側電線を接続する

- ・管灯回路の延長長さは50m以内としてください。
- ・安定器二次側の青色口出線を延長する場合は安定器と同一口出線(HIV・1000V蛍光灯電線)または、600Vビニル絶縁電線と同一以上の性能を有する電線を使用してください。
- ・結線ボックスのボックス蓋を外してください。
- ・安定器二次側電線(3心φ11.5~φ13)の外装シースを約100mm~150mmむきナットを緩めて結線ボックス内に10mm~15mm挿入した後、ナットを締め付ける。

締め付けが不十分ですと浸水・感電の原因となります。

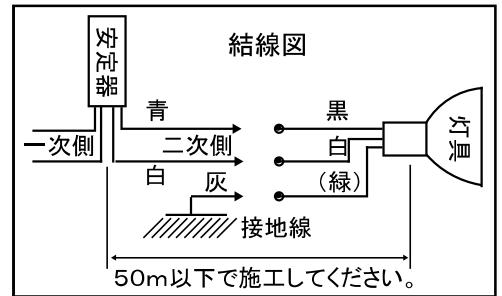
- ・安定器二次側電線と口出し線とを確実に結線した後、スリーブでカシメ、自己融着テープ、ビニールテープにて防水処理をする事。

- ・接地線を使用してD種(第3種)接地工事を行なってください。

接続が不完全な場合、感電・発火の原因となります。

- ・ボックス蓋をしっかりと締め付けてください。

締め付けが不十分ですと浸水・感電の原因となります。



2 オプションに取付ける

- ・灯具をオプション(別途)に固定し、照射方向を決めてからセットボルト2本で確実に固定してください。

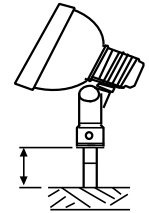
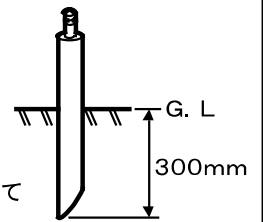
不十分ですと落下の原因となります。

- ・スパイクの場合はG. Lの位置まで確実に地中に打ち込んでください。砂地等の地質の軟らかい場所に設置する場合にはコンクリート等で埋込部を固定してください。

- ・適合スパイクと組合せる場合は、必ず地面より100mm以上あけてください。

浸水による感電・器具内結露の原因となります。

冠水の恐れがある場所には使用できません。浸水により感電の原因となります。



スパイク取付時
100mm以上

3 ツマミネジ(4カ所)をゆるめガラス枠を開ける

- ・ツマミネジ4本を均一に少しずつゆるめてから、ガラス枠を開けてください。
ツマミネジを1本ずつ外すと抜け止めがとれたり、ツマミネジが変形する恐れがあります。

4 ランプを取付ける

- ・必ず適合ランプを使用してください。

5 ガラス枠を元通りにセットする

- ・ツマミネジ4本を均等に少しずつ締めて、片締めにならないようにしてください。

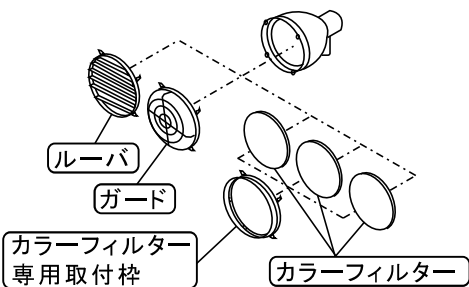
ガラス枠のツマミネジは、しっかり締めてください。締め付けが不十分ですと浸水・感電・発火の原因となります。

6 照射角度を設定する

- ・照射方向設定用ツマミをゆるめて設定してください。

設定後は、照射方向設定用ツマミしっかり固定してください。不十分ですと落下の原因となります。

<アクセサリ構成>



(アクセサリ取付方法)

- ・本体のガラス枠に取付いているツマミネジを均一に少しずつゆるめてから各アクセサリのツメを引掛け、枠をツマミネジで均等に少しずつ片締めにならないように締付けてください。

* カラーフィルター専用取付枠の場合

- ・カラーフィルターの表裏を確かめてください。
- ・カラーフィルター専用取付枠の内側にある金具を取り外してください。
- ・カラーフィルターを入れて取付金具ではさんでください。
- ・本体のガラス枠にカラーフィルター専用取付枠を取付けてください。

ガラス枠のツマミネジは、しっかり締めてください。

締め付けが不十分ですと浸水・感電・発火の原因となります。

工事店様へ

お客様の施設の安全で便利な保守のために、最後のページの施工記録表の各欄に記入し、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いいたします。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しない。感電・発火の原因となります。
- ランプ交換は、器具、安定器の適合とランプの使用制限を確認の上行なう。ランプ破裂・発火の原因となります。
- ランプ点灯中及び、消灯後しばらくは前面ガラスが高温になりますので、触れない。やけどの原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなど異常状態のまま使用すると、発火・感電の原因となります。異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてから行なう。やけど・感電の原因となります。

注意

- ランプ交換の際には、各部のなまえと取付けかたにしたがって確実にこなしてください。不備がありますと、落下・感電・発火の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

保証について

- 1: 保証について
この商品の保証期間は1年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 2: 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 3: 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品の製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お手入れ・ランプ交換 注意(必ず電源を切って行ってください。感電の原因になります。)



注意

ネジをゆるめる又は締付ける場合には
4本均等に少しずつ行うこと

- 器具の清掃について.....汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり乾いた布で仕上げてください。
シンナーやベンジンでふかないでください。
変色・変質の原因となります。
- ランプ交換について.....本体表示にしたがって、指定されたランプをご使用ください。
(パナソニック製ランプをご使用ください)

お客様へ ランプ交換など保守のために、下表内容をご確認の上、適切な保守用品をお求めください。
なお、安全のために保守作業は、できるだけ工事店にご依頼ください。

保守・点検のために

〈施工記録〉

器具品番		保守作業上の注記
取付年月日		
使用ランプ品番		
使用安定器品番		